

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所（AA 研）主催
第 4 回 文法研究ワークショップ そこに「ゼロ」はあるのか？(2)

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 (AA 研) では、「文法研究ワークショップ」として、記述言語学を志す学生や研究者が最新の研究成果や調査データを紹介しあうことにより、学生・研究者の交流や、最新の情報の共有を目指します。

前回、3月に行なわれたワークショップに引き続き、「言語分析におけるゼロ」をテーマとして第2回目のワークショップを行います。

言語の分析においては、形の上では何もないけれども、「ゼロがある」と考えることがしばしばあります。しかし、「ゼロ」は実体がないため、そこに本当にゼロがあるのか、あるいは何もないのかは、ときに判断の難しい問題になります。本ワークショップでは、どのような場合にゼロを考える必要があるのか、ゼロを設定する意味、そもそもゼロとは何なのかなど、ゼロにまつわる問題をさまざまな言語の事例を通して考えていきます。

記

1. 開催日時: 2012年7月21日(土) 13:00 ~ 17:00
2. 会場: 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 研修室(4階405号室)
3. 発表:

梅谷博之(東京大学研究員) 「モンゴル語ハルハ方言におけるゼロ」

吉岡乾(東京外国語大学大学院) 「ブルシャスキー語でゼロ形態素を立てる」

大西秀幸(東京外国語大学大学院) 「ジンポー語の動詞文標識の屈折に想定されるゼロ形式」

佐々木充文(東京大学大学院)

「そこに null はあるのか: 古典ナワトル語からみた null anaphora」

※本ワークショップは、遠方からの参加も可能になるよう、Ustream によりインターネット中継を行います。また、Twitter によりコメントも受け付けます。Twitter で参加される方はハッシュタグ #ilcaafllws をご利用下さい

※参加には応募が必要です。以下の応募要項に従いご応募下さい。

募集要項

1. 応募資格: 記述言語学分野の学生・研究者(原則として修士課程在籍以上)を原則とします。
2. 応募方法: 次の情報を下記「3. 申込先」に電子メールでご送付下さい。電子メールの件名は必ず「文法研究 WS 参加希望」として下さい。
 - (1) 氏名(ふりがな)
 - (2) 所属
 - (3) メールアドレス
 - (4) 動画公開時のプライバシー: ①顔が映っても問題ない ②顔が映るのはNG
3. 申込み先: AA 研言語ダイナミクス科学研究プロジェクト事務局
lingdy-office[at]aacore.net ([at] を@に変えて送信ください)
4. 募集人数: 15 名程度
5. 募集締め切り: 2012 年 7 月 16 日(月) 正午
6. 選考方法: 先着順を原則とします。
7. 選考決定と通知: 受講の可否は, 7 月 18 日までに本人あて電子メールにより通知します。
8. 問い合わせ先: 本ワークショップに関するお問い合わせは, AA 研言語ダイナミクス科学研究プロジェクト事務局 (lingdy-office[at]aacore.net([at] を@ に変えて送信してください)) まで, 電子メールにてお問い合わせください。